

コラム・国際メディアセンター

二〇〇二年FIFAワールドカップ日本・韓国大会では、パシフィコ横浜展示ホールに国際メディアセンター（IMC：International Media Center）が設置される。

このIMCは、国際放送センター（IBC：International Broadcasting Center）、メインプレスセンター（MPC：Main Press Center）、メインアクレディテーションセンター（MAC：Main Accreditation Center）の三つの主要施設の複合体である。

IBCは二〇〇二年のワールドカップ開催期間中、日本側の放送本部としての役割を果たし、日本の各競技場で行われる各試合の映像が届けられ、実況解説とともに、世界中に国際信号として発信される。

また、韓国に設置されるIBCとのリレーシヨンの役割も果たす。

MPCは、新聞・通信社の記者およびカメラマン等、メディア関係者がワールドカップを報道することを目的に作業を行う中心エリアとなるとともに、国内各開催地に設置されるメディアセンターのコントロールも行う。

MACは、大会運営の安全性を確保するため、大会関係者を各カテゴリー別に分け、アクセスコントロールするためのADカードを発行する。国内各開催地に設置されるアクレディテーションセンターのヘッドオフィスの

役割を果たし、情報は一元化される。

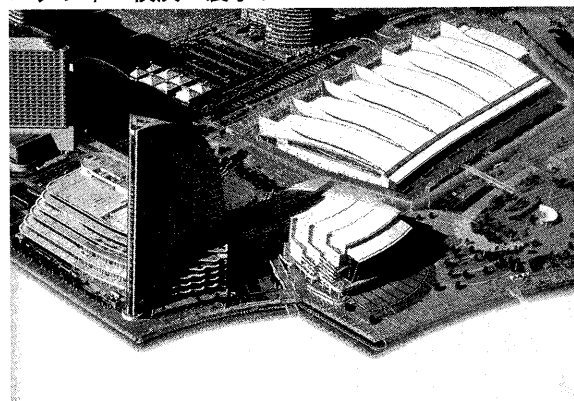
また、IMCで働く多くの人たちのADカードもここで発行される。

このように、国際メディアセンター・IMCは、いわば日本の十一番目のベニューとして二〇〇二年大会の重要な役割を持つている。

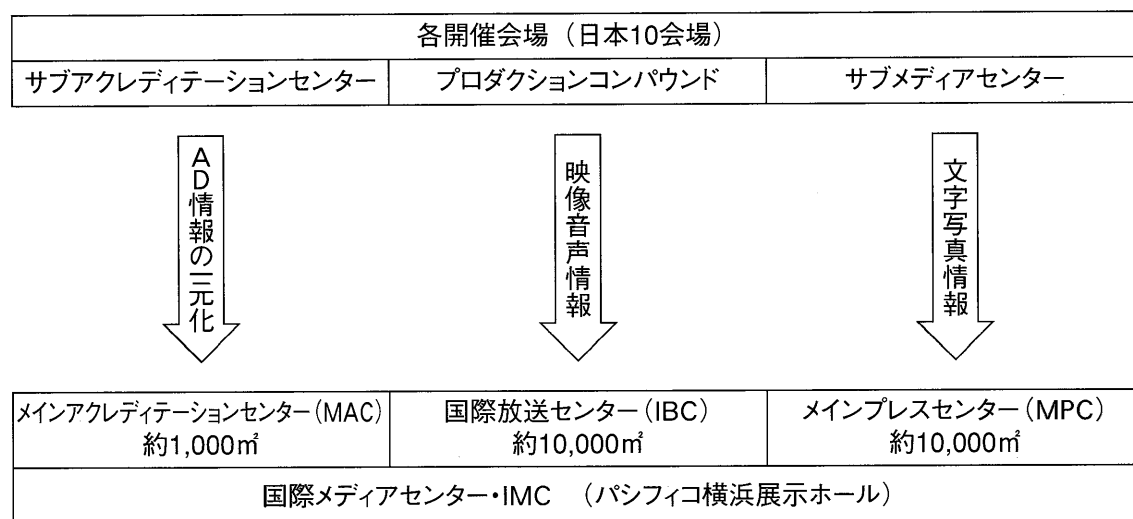
このIMCから、毎日のように世界各国に「発」のニュースが伝えられる。

二〇〇二年大会の成功はもとより、横浜にとつてのワールドカップの成功が、このIMCの成否にかかっていると云える。

パシフィコ横浜・展示ホール



国際メディアセンター設置イメージ



※国内開催10都市：札幌市、宮城県、茨城県、埼玉県、新潟県、静岡県、大阪市、神戸市、大分県、横浜市